

(報道資料)

平成 25 年 11 月 11 日

陸上自衛隊中部方面隊
NTT 西日本東海事業本部

NTT 西日本と陸上自衛隊中部方面隊第 10 師団（守山駐屯地）共同訓練の実施について ～災害発生時における被災地の早期通信確保に向けた連携強化～

陸上自衛隊中部方面隊第 10 師団（師団長：陸将 保松 秀次郎）と NTT 西日本東海事業本部（取締役東海事業本部長：東田盛 正治）は、南海トラフ巨大地震など災害発生に伴う通信設備への被害を想定した共同訓練を実施します。

本訓練は「陸上自衛隊中部方面隊と西日本電信電話株式会社との間の災害時における通信の確保のための相互協力に関する協定」に基づき東海地域では平成 23 年から毎年実施しています。

概要は、以下の通りです。

1. 実施目的

南海トラフ巨大地震等の有事に備え、災害対策機器（小型衛星地球局端末）を自衛隊所有ヘリコプターを使用して空輸する手順・技術を確認・習得する。

【訓練概要】

被災想定／南海トラフ巨大地震の発生に伴い愛知県内で通信の孤立地域が発生。

橋梁被害により現地への陸送は不可。

航空自衛隊岐阜基地から陸上自衛隊守山駐屯地に向け、災害対策機器を空路で運搬し、現地にて特設公衆電話設置を行う。

(参考：平成 24 年度実施時のイメージ)



2. 訓練場所

陸上自衛隊守山駐屯地（名古屋市守山区守山 3 丁目 1 2 番 1 号）

3. 実施日

平成 25 年 11 月 14 日(木)

< 訓練内容 >

No.	訓練内容
①	NTT 西日本東海事業本部災害対策本部設置。 災害対策機器準備後、航空自衛隊岐阜基地へ移動。
②	航空自衛隊岐阜基地にてヘリコプターへの災害対策機器（小型衛星地球局端末等）の積載訓練
③	航空自衛隊岐阜基地から陸上自衛隊守山駐屯地へ災害対策機器を空輸。
④	陸上自衛隊守山駐屯地到着後、災害対策危機器の積み下ろし。
⑤	陸上自衛隊守山駐屯地に特設公衆電話を設置。
⑥	特設公衆電話の撤収。
⑦	陸上自衛隊守山駐屯地にてヘリコプターへの災害対策機器（小型衛星地球局端末等）の積載訓練
⑧	陸上自衛隊守山駐屯地から航空自衛隊岐阜基地へ災害対策機器を空輸。
⑨	訓練講評
⑩	NTT 西日本東海事業本部災害対策本部解除

5. 訓練参加者

陸上自衛隊員及び NTT 西日本グループ社員 計 26 名

(内訳)

- ・陸上自衛隊第 10 師団 11 名
- ・NTT 西日本グループ 15 名

以 上

ニュースリリースに記載されている内容は、報道発表時のものです。
最新の情報と内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。